



## 旭市青少年相談員連絡協議会

千葉県青少年相談員は、青少年と一体になり、共に喜び、語り、行動することで、青少年のよき理解者・相談相手として、青少年の健全育成のために活動しています。

現在、市では第21期旭市青少年相談員として、市長から委嘱された72人が活動しています。通学合宿、海上キャンプ場での宿泊体験、ドッジボール大会、パークゴルフ大会、スポーツ事業への協力など、幅広い活動をしています。

今年度は、小学5・6年生を対象とした通学合宿が、新型コロナの影響で中止になりましたが「コロナ禍でも、地域の子どもたちのために、できる限りの事業をしたい」という思いから、地域の小学生と相談員が触れ合える事業として、キャンプファイヤーをメインとしたデイキャンプを新たに開催しました。

### 海上キャンプ場デイキャンプ

多くの児童に参加してほしいとの思いから、小学4～6年生を対象に、ボーイスカウト旭第1団、旭市ジュニアリーダースクラブの協力の下、5月から小学校区ごとに4回実施しました。

デイキャンプ開始直後は、慣れない取り組みに少し戸惑っていた相談員ですが、徐々に事業の手応えを感じ、全4回中3回参加した相談員もいました。

デイキャンプの中で一番盛り上がりを見せたのは、メインのキャンプファイヤーで、燃え盛る炎を囲み、歌やダンスなどをしました。相談員が子どもたちをリードしていたので、人前に出るのが苦手な児童も、みんなと一緒に楽しく過ごしていました。



元気にキャンプファイヤーを楽しむ児童

参加した児童にデイキャンプの感想を聞くと「来年もまた参加したい」「仲良くなった子と、もっと一緒にいたい」など、楽しかった様子の感想ばかりでした。

計4回の開催で約150人の児童が参加し、地域の相談員との交流を深めることができ、盛況のうちに終了することができました。

旭市青少年相談員連絡協議会では、今後も感染対策などさまざまな工夫をしながら、子どもたちの健やかな成長をサポートするための活動に取り組みます。

### 年内の活動

- 海上地域少年少女ドッジボール大会

開催日：10月30日(日)

場所：海上キャンプ場体育館

- 子どもパークゴルフ大会

開催日：11月5日(土)

場所：あさひパークゴルフ場

## あさひ輝いた人々

最終回

### 養豚王国・干潟町を支えた敏腕町長

やまだ つねえ  
山田 常衛 (1929～2003年)



常衛は干潟町長を3期務めた人物です。昭和4年、萬力村に生まれ、昭和21年、銚子商業学校を卒業して家業を継ぎました。干潟町では昭和36年に千葉県から豚生産団地の指定を受け、畜産農家が増大しました。種豚の品種改良や養豚の発展のため、昭和41年より町種豚共進会、育成共励会が開催されるようになり、これらを中心となって支えました。この努力が実り、昭和51年、第8回全日本豚共進会雄豚の部において農林大臣名誉賞を受賞しました。関係者の喜びはひとしおだったといいます。養豚育成の功績から、昭和59年に全国養豚協会表彰、千葉県知事表彰、平成3年には農林水産大臣賞を受けました。

昭和50年、45歳のときに干潟町議会議員に初当選し、

昭和58年まで町議会議員を務め、この間議会議長としても活躍。昭和58年から昭和61年まで干潟町助役として、町政に携わりました。その手腕から、昭和62年、無投票で干潟町長に当



昭和39年の第5回全日本豚共進会にて

選し、以後平成11年まで、3期12年にわたり町長の職を務めました。「町政のあり方は、町民と共に考える」「人を中心に考える物心の調和」「経営体としての企業感覚の導入」といった3つの基本政策を掲げ、効率の良い行政を目指し、豊富な経験と知見で町政に取り組みました。

自身が関わってきた農業振興をはじめ、工業団地の完成に伴い企業誘致を進めたほか、まちづくりの基本は人づくりからと、町内の小中学校整備をいち早く進めました。また、公園やコミュニティ施設などの整備を行うなど、人々が集い、潤う環境づくりに力を尽くし、その努力と情熱を惜しむことなく町の発展のために注ぎました。

あさひ輝いた人々は、今回が最終回になります。ご愛読ありがとうございました。次回から新コーナーが始まります。